

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

平成 30 年 6 月 28 日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県日進市浅田平子一丁目 300 番地

氏 名 中央可鍛工業株式会社

取締役社長 武山 直民

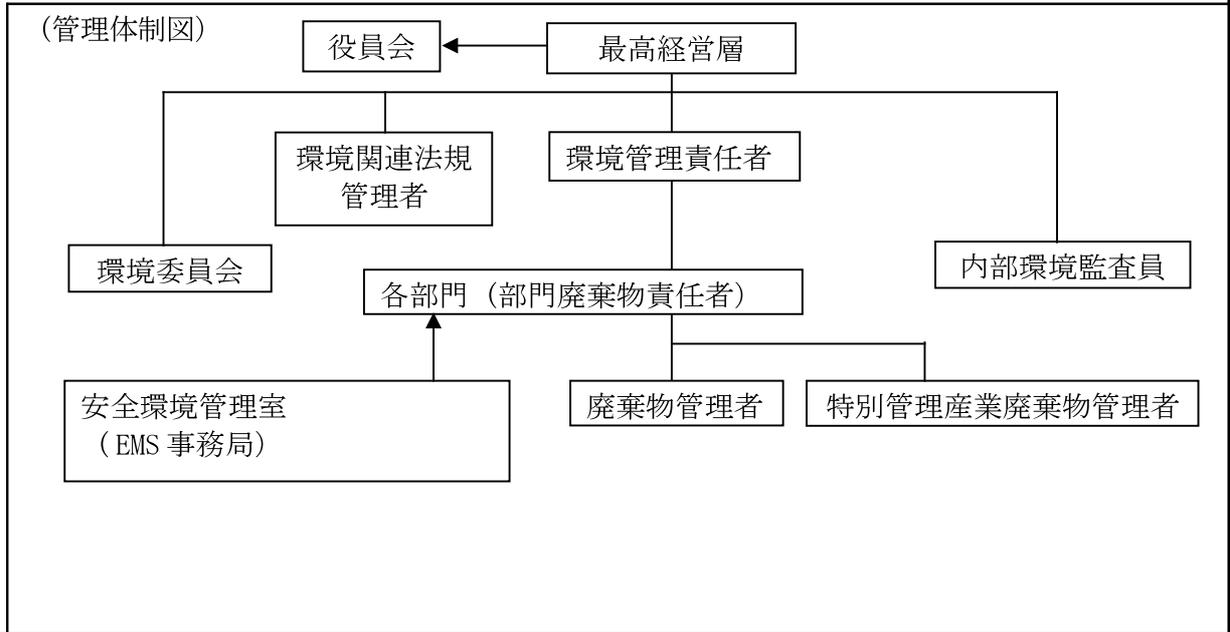
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 052-805-8600

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	中央可鍛工業株式会社 日進工場
事業場の所在地	愛知県日進市浅田平子一丁目 300 番地
計画期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	24: 金属製品製造業
②事業の規模	製品出荷額 19,594 百万円
③従業員数	527 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 9 参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (29 年度) 実績】 別紙1～3のとおり	
	産業廃棄物の種類	—
	排出量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】 別紙1～3のとおり	
	産業廃棄物の種類	—
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（ 29 年度）実績】別紙4～7のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t	t

		再生利用者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組)		

(第5面)

計②計画	【目標】別紙4～7のとおり			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

※事務処理欄	
--------	--

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず
	排出量	0.88 t	22.04 t
	（これまでに実施した取組） 蛍光灯：LED 導入による廃棄物発生頻度の削減 木くず：持込品木製パレットの納入先への返却		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず
	排出量	0.88 t	22.04 t
	（今後実施する予定の取組） 蛍光灯：現状の継続 木くず：現状の継続		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	排出量	0.22 t	37.67 t

		(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥	
	排出量	0.22 t	37.67 t	
	(今後実施する予定の取組)			

別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	
	排出量	0.14 t	6895.27 t	
	(これまでに実施した取組) 乾電池：一部充電式乾電池仕様の機器を導入し、廃棄物発生頻度の削減 シェル廃砂：ショット等の鉄分含有砂の分別回収 耐火スラグ：耐火炉材の検討変更による炉修周期の延長 シェル廃砂：磁選によるメタル分の分別、リサイクル化による廃砂発生削減			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	金属くず	鋳さい	
	排出量	0.14 t	6895.27 t	
	(今後実施する予定の取組) 乾電池：現状の継続 シェル廃砂：現状の継続 耐火スラグ：現状の継続 シェル廃砂：現状の継続			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	排出 量	0.02 t	36.04 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	排出 量	0.02 t	36.04 t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙 3

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出 量	172.17 t	0.02 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出 量	172.17 t	0.02 t

		(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

別紙 4

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	0.88 t	22.04 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t

			再生利用者への の 処理委託量	0.88 t	22.04 t
			認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
			認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁 器くず		木くず	
	全処理委託量		0.88 t	22.04 t	
	優良認定処理業者への処 理委託量		t	t	
	再生利用者への 処理委託量		0.88 t	22.04 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t	
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量		t	t	
	(今後実施する予定の取組)				

別紙 5

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	全処理委託量	0.22 t	37.67 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用者への の 処理委託量	0.22 t	37.67 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	引火性廃油	汚泥
	全処理委託量	0.22 t	37.67 t
	優良認定処理業者への処 理委託量	t	t
	再生利用者への 処理委託量	0.22 t	37.67 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t

	(今後実施する予定の取組)
--	---------------

別紙 6

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	鉍さい
	全処理委託量	0.14 t	6895.27 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用者への 処理委託量	0.14 t	6895.27 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 耐火スラグ：耐火炉材の検討変更による炉修周期の延長		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	鉍さい
	全処理委託量	0.14 t	6895.27 t
	優良認定処理業者への処 理委託量	t	t
	再生利用者への 処理委託量	0.14 t	6895.27 t

		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 耐火スラグ：現状の継続		

別紙 7

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類
	全処理委託量	0.02 t	36.04 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者へ の 処理委託量	0.02 t	36.04 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃プラスチック類

		全処理委託量	0.02 t	36.04 t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	0.02 t	36.04 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)				

別紙 8

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	172.17 t	0.02 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	172.17 t	0.02 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>木くず：木製パレットの納入先返却</p>
--	--	--

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	172.17 t	0.02 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	172.17 t	0.02 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>木くず：現状の継続</p>		

④産業廃棄物の一連処理の工程(別紙)

